活用ナビ

①【ねらい】情報を伝えるさまざまなメディアの特徴がわかる。

(本展開は、メディアの変化と放送局の取り組みを学習したのちに、資料1を活用した学習として行います。)

②●情報を伝えるメディアにはどのようなものがあるでしょうか。
※知っているメディアを発表させる。P170の図7・1も参考にさせたい。

②●みんなが使うテレビやインターネットには、どのようなよさがあるのでしょうか。
※資料1で扱う4種類のメディアのうち、子どもたちがよく利用しているテレビとインターネットについて、特徴をよさとして考えさせる。

③●資料1「情報を伝えるさまざまなメディア」を読みましよう。
●4つのメディアの特ちょうで大事だと思うところに線を引きましょう。
※テレビとインターネットについては②の考えと比べるようにする。

④●どのような時にどのメディアを使ったらよいのでしょうか。資料1から選びましよう。
※書かれている4つの場面に取り組ませ、書き終えた子どもたちは自分で利用場面を考えるように指示する。

⑤●さまざまなメディアの特徴を知って考えたことを話し合いましよう。
※状況にあったメディアを使うことの大切さを考えさせたい。

5年-16

4-1 情報を伝える人々とわたしたち
メディアの変化と、放送局の取り組み P180~P181

5年 組 番
名前

①【ねらい】情報を伝えるさまざまなメディアの特徴がわかる。

②情報を伝えるメディアにはどのようなものがあるだろうか。

- ・テレビ
- ・インターネット
- ・スマートフォン
- ・タブレット
- ・パソコン
- ・電話
- ・ラジオ
- ・新聞
- ・カーナビ
- ・街の中の看板・・・

・みんなが使うテレビやインターネットには、どのようなよさがあるのだろうか。

●テレビ

●インターネット

- ・映像を見ることができる
- ・楽しい番組が多い
- ・ニュースをまとめて伝える
- ・見ている人の意見が出てくる
- ・録画できる

- ・すぐに調べることができる
- ・スマートフォンは持ち運びができる
- ・自分も発信ができる
- ・友だちとのやりとりができる
- ・データを送ることができる

③【基本】資料1「情報を伝えるさまざまなメディア」を読もう。

・4つのメディアの特ちょうで大事だと思うところに線を引こう。

④【ポイント】どのような時にどのメディアを使ったらよいのだろうか。1から選ばう。

- ・知りたい情報をすぐに調べたいとき→ インターネット
- ・記事を保存したいとき→ 新聞
- ・停電が続いているとき→ ラジオ
- ・その日のニュースをまとめて知りたいとき→ テレビ
- (その他) ・友達にすぐに連絡をとりたとき→ インターネット
- ・商品の情報を得るとき→ テレビのコマーシャル
- ・車を運転しているとき→ ラジオ

⑤さまざまなメディアの特ちょうを知って考えたことを話し合おう。

資料の読解

この表はメディアの中でも代表的なものの特徴を表したものである。現代社会には多くのメディアがあり、私たちは場面や状況に応じてメディアを使い分けている。たとえば、調べごとや連絡の際にはインターネットを使い、日々の暮らしの中ではテレビから多くの視覚的な情報を得ている。新聞を通じてニュースの詳細をくわしく読んだり、地震等で停電の際にはラジオが頼りになる。そのようなそれぞれの特徴が、子どもが理解しやすい表現で表に書かれている。

この資料を活用するには読んで終わらせるのではなく、あらかじめその特徴を考えさせる場面を設けたり、特徴を理解したあとにどのような場面でそのメディアを活用しているか考えさせたりすることで、理解も深まるであろう。

読解の方法

- (1) 最初知っているメディアを発表させる。多くのものが出てくると思われるが、その中で子どもたちもよく利用しているテレビとインターネットをとりあげ、そのよさを考えさせる。よさを考えさせることはメディアの特徴を考えることにつながる。
- (2) 次に、テレビ、インターネットの他に、新聞とラジオを加えた資料²を読ませる。自分たちが考えたテレビやインターネットのよさと比べさせたい。なお大事だと思う点は線を引かせる。
- (3) 自分が4つのメディアをどんな時に利用しているか話し合わせたのち、④に取り組ませる。さまざまな活用事例から、自分たちは必要に応じてメディアを使い分けていることに気づかせたい。
- (4) 最後に資料のテーマである「情報を伝えるさまざまなメディア」の特徴を知って話し合い、状況に応じてメディアを使い分けることの必要性を考えさせるようにする。